

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
基礎演技Ⅲ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	105	単位	3
担当教員	オーハシ、安奈ゆかり、高橋美沙			実務経験	有	職種	俳優				
担当教員紹介											
国際交流基金フェローシップでベルギーに、文化庁でイギリスに留学。1985年にモリムラルミコとTAICHI-KIKAKU設立し「身体詩」という新しい「劇」分野を切り開き世界24カ国100回の海外公演に主演。カイロ国際実験演劇祭BEST ACTOR AWARD受賞。著書「立ち位置の法則」（かんき出版）など。											
授業概要											
数名の俳優がローテーション形式で授業を担当する。それぞれが役者として重要視するスキルの向上と考え方（取り組み方）を養う。 ①「表現力を高める」ために、読解力（認知）、想像力（判断）、コミュニケーション能力（操作）を鍛える。 ②「表現する」とはどういうことなのか、頭と身体を使って個々の表現を身につけていく。 ③「演技者」としての心構え、マナー、基礎知識を学び、体と心を使って様々な事を体験し身につける。											
到達目標											
相手の言葉や行動をきちんと把握して（認知）どう対処するべきか思い描き（判断）、相手と積極的に関わる（操作）。緊張と自意識からの解放。自分と向き合い、受け入れてから作品や役に対して自らイメージを思い描き、動けるようになる。自分・人・芝居を入学時より、好きになる。具体的に考え、悩み、行動し、演劇人としての自覚と覚悟を持つ。											
授業方法											
役者として必要とされるメンタル・体力・身体・声・を得るための基礎トレーニングを学ぶ。コミュニケーションゲーム・シアターゲーム・インプロ・台詞を通じて、演技に必要な要素を身につける。また、感じたことを声に出す、文字や絵にする、身体で表現する、という「アウトプット」を積極的に求めます。											
成績評価方法											
授業に対する積極性や授業態度、課題・実技への取り組み、内容について評価する。											
履修上の注意											
学生間、講師と学生とのコミュニケーション、様々な考え方・表現を学びつつ、礼儀・挨拶・相手に対して敬意を払うことを重視する。授業時間数の4分の3以上出席しない者は、定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
台本（テキスト）・資料など、必要に応じて授業内に配布。											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介（自分と相手を見る・知る、伝える意識・興味を抱く）現状認識（今の自分を心身共に認識する）										
第2回	立つ・座る・歩く（自分のニュートラルを知り、人に見られていることを意識する）										
第3回	インプロ：ワンワードストーリー、何やってるの？、モデル粘土アーティスト、サンキューゲーム、ミラー										
第4回	自分の課題を見つける。自分はどうなりたいのか、何が得意で何が苦手か、発見し向き合う。										
第5回	インプロ：1分間のTV-CMをつくる、レシートから物語をつくる										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
基礎演技Ⅲ	
第6回	インプロ：雑談のエチュード、インタビューと発明家、「Yes Andの説明」
第7回	インプロ：アテレコゲーム、定員2名
第8回	声・様々な発声。想像して信じる、信じさせる。
第9回	インプロ：設定を持ち込むエチュード（どこで誰が何しているのか？）
第10回	インプロ：ペーパーズ、キーワードを言わせる
第11回	「関係性」チームを作り、話し合っ短い芝居を作って学ぶ。
第12回	インプロ：1分間の一人芝居をつくる、クラスメイトを演じる
第13回	台本を使って、会話ゼリフ、長ゼリフを学ぶ。
第14回	3分間の自己アピール
第15回	台詞・短編・エチュード：作品の中の役について考え、動いてみる。イメージ力・行動力の強化。